

平成24年10月25日

参考資料

神奈川DMA T-L 隊員養成研修の実施について

～県内の災害時医療救護活動の充実強化を図ります～

県内で発生した大規模災害を対象に医療救護活動を行う「神奈川DMA T-L」の第1回隊員養成研修を次のとおり実施しますのでお知らせします。

1 実施日

平成24年10月27日(土) 9:00～18:00

平成24年10月28日(日) 9:00～17:30

2 実施会場

神奈川県消防学校 (厚木市下津古久280)

3 受講者

県内の6つの災害拠点病院から6チーム 30人(1チーム5人)

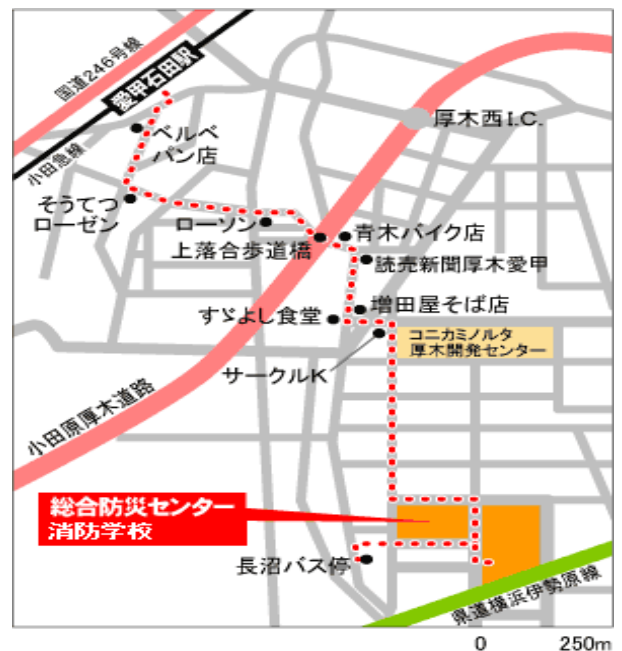
4 主な研修内容

講義形式 「災害現場での傷病者観察手順とトリアージ」など

実技形式 「現場救護所模擬診療」「トリアージ」など

5 会場へのアクセス

- 公共交通機関の場合
 - ・小田急線 愛甲石田駅
バス10分 2番乗り場(神奈中バス)
伊勢原駅南口行き(伊80)
または平塚駅北口行き(平68)
長沼バス停下車、徒歩5分
- クルマの場合
 - ・東名高速道路
厚木インターチェンジから
約2.5キロ
 - ・小田原厚木道路
厚木西インターチェンジから
約1.5キロ



問い合わせ先
保健福祉局保健医療部健康危機管理課
課長 平井
電話 045-210-4790 (直通)
課長代理兼グループリーダー 加藤
電話 045-210-4634 (直通)
ファクシミリ 045-633-3770

※ 参考1 受講チームの内訳

- ① 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院
- ② 横浜市立大学附属病院
- ③ 日本医科大学武蔵小杉病院
- ④ 聖マリアンナ医科大学病院
- ⑤ 済生会横浜市東部病院
- ⑥ けいゆう病院

※ 参考2 神奈川DMAT-L (LOCAL) とは

神奈川県内で発生した地震及び航空機・鉄道事故などの大規模災害の発生直後（概ね48時間以内）に活動できる機動性を持ち、神奈川県が実施する「神奈川DMAT-L 隊員養成研修」を受講した、救急治療を行うための専門的な訓練を受けた災害派遣医療チームをいう。

※ 参考3 神奈川DMAT-Lの活動内容

神奈川DMAT-Lは県内で発生した大事故をはじめとした局地災害において次の活動を行う。

- (1) 現場活動：被災現場における消防と連携したトリアージ及び緊急治療
- (2) 病院支援：被災地内の病院での診療活動の実施
- (3) 域内搬送：被災地内での傷病者搬送及び搬送中の治療

※ 参考4 DMATと神奈川DMAT-Lの違い

DMATは、地震などの大規模災害のうち、県内だけでなく、県域を越えた広域医療搬送などの活動も対象としている。

これに対して、神奈川DMAT-Lの活動対象は、県内で発生したものに限っている。

県内災害においては、現場におけるトリアージや緊急治療のほか、傷病者の搬送や搬送中の治療など、その活動内容の違いはない。

※ 参考5 トリアージとは

災害時にできるだけ多くの負傷者を救うため、負傷者の緊急度に応じて治療や搬送の優先順位を決定する行為です。